資料３

Ⅲ．大阪市胃がん検診（胃内視鏡検査）研修会について

１、平成 30 年度大阪市胃がん検診（胃内視鏡検査）研修会について

開催日時：平成 31 年 2 月 20 日（水）14 時～15 時 30 分
開催場所：大阪府医師会館
対　　象：検査医、ダブルチェック医
内　　容：①画像評価基準と、画像評価を通じた標準撮影法の再確認
（大阪市胃内視鏡検診運営会議委員　辰巳 嘉英 先生）
②ダブルチェックの重要性
～先行自治体での実績及び教育方法を通じて～
（福岡赤十字病院　消化器内科部長　平川 克哉 先生）

２、平成 31 年度大阪市胃がん検診（胃内視鏡検査）研修会について

○課題：平成 30 年 3 月 15 日　大阪市胃内視鏡検診運営会議資料から

項目	萎縮性胃炎の対応について
現状	保険診療でピロリ感染診断、除菌治療、除菌判定を行った後の萎縮性胃炎をさらに保険診療として経過観察を続けるか、対策型胃内視鏡検診の対象とするかは、萎縮性胃炎の程度や範囲などにより、担当医の総合的な判断で決定していただいている。
課題	萎縮性胃炎に対して、一定の説明や事後措置等の取り決めを行っていないピロリ感染診断や萎縮性胃炎の診断を積極的に行っている自治体は、それらの集計を行っている。ただし、説明の詳細については様々な場合があるので、実際に対応される医師の判断に委ねられている。 正確なピロリ感染診断や萎縮性胃炎判定を行う為、ダブルチェック医を日本消化器内視鏡学会専門医のみとしている自治体も複数ある。
対策	検査医に、胃炎の京都分類の詳細など、ピロリ感染診断や萎縮性胃炎判定に関する研修を実施し、今後の議論に備える。

○平成 31 年度大阪市胃がん検診（胃内視鏡検査）研修会（案）

内容：①ピロリ菌感染診断について
②症例検討